

展示会業界の「木材廃棄量ゼロ」をめざして  
**展示会ブースの新構法「再生板紙構法」の提案**  
12月10日（水）から開催のエコプロに出展

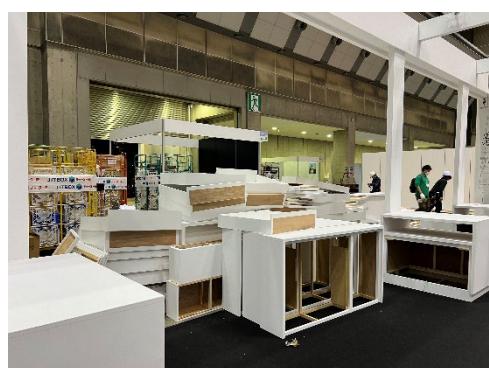
展示会ブースを専門にデザインする空間デザイン会社SUPER PENGUIN株式会社（東京都品川区、代表取締役 竹村尚久）は、12月10日～12日まで東京ビッグサイトにて開催されるエコプロに出展を行います。今回の出展は昨年に引き続き、ブースをつくる新構法の提案。スーパー・ペンギンでは、展示会における木材の廃棄量を極力ゼロに近づけるために、「再生板紙」を木材と同じように使用して「置き換え」を行い、ブースを作り上げる「再生板紙構法」の提案をこれまで行ってきました。今回の出展では、主に展示会業界の関係会社に向けて、再生板紙構法を自社で導入する際の注意点等をお伝えし、業界内での活用促進を目指します。



展示会後に廃棄される木材の削減策は？

1年間で展示会業界で廃棄される「木材」は2万トン以上

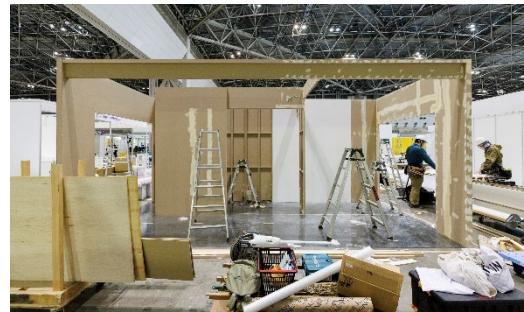
日本の展示会業界では、主要会場（東京ビッグサイト・幕張メッセ・インテックス大阪）だけで年間約2万トンの木材が廃棄されていると推計されます。この数字は、標準的な木工ブース（2小間で約400kgの木材使用）を基準に、年間の総出展面積と木工ブースとシステムブースの割合（仮に6:4と設定）を掛け合わせて算出されたものです。つまり、展示会の規模やブース構成比率によって変動しますが、低めに見積もっても2万トン規模になるとされています。



## 「再生板紙構法」のポイントと課題は?

### 現状の生産体制を大きく変えない「素材の置き換え」構法

展示会ブースを作る際にデザイン的な自由度がある「木材を使用したブース」。この構法は、寸法自由性、デザイン再現性の観点から今後もなくなることはない、重要度の高い構法と考えられます。しかし、それでは「木材の廃棄量」はいつまでたってもゼロにはなりません。であれば、木材の代わりに、木材と同じ「素材形状」を「再生板紙」でつくることで、廃棄量を減らせるはずです。しかも、ブースをつくる職人の方々の業務はほとんど変わりません。この「素材の置き換え」が重要なポイントとなっています。ただし、現状では、素材への防炎処理の工程が必要であることから、費用が1.5倍近く高くなってしまいます。この点は今後展示会業界内の需要が増えることで改善してくる項目です。そのためにもまずは、少しづつでも業界内で本構法の活用を進めることができ、業界内の木材削減を進めるために重要となってきます。



## 今回のエコプロ出展のポイントは?

### 再生板紙構法の自社導入のポイントをお伝えします。

エコプロへの出展2回目となる今回は、より多くの展示会業界内企業、特に設営会社へ向けて発信を行います。お伝えしたいのが、それぞれの設営会社が、自社で「再生板紙構法」のブースが作ることができるようになること。実際に再生板紙構法の施工を行った設営会社によると「20分ほど話せば、ほとんどの施工会社は作れるようになります」とその導入の簡単さを話しています。今回の出展で、1社でも多くの設営会社の皆様、展示会業界の皆様とお話しすることが当社の目標です。

## エコプロステージに登壇／全設営会社向けに「再生板紙構法」の導入のポイントを伝達

### 12月12日（金）15:50～エコプロステージに登壇

再生板紙構法を自社で導入したい。そんな展示会業界企業、展示会出展社に向けて、そのポイントと現在の課題についてお話しします。特に聞いていただきたいのは、展示会業界の設営会社様、代理店様。今後のブースづくりの選択肢の1つとして、お考え下さい。

<https://messe.nikkei.co.jp/ep/cat880/stage-exhibition-booth-2025.html>



## 会社概要

商号：SUPER PENGUIN 株式会社 代表者：代表取締役 竹村 尚久 設立：2005年6月2日

所在地：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-10-50 SEED 花房山405 TEL:03-6417-4497

事業内容：展示会ブースデザイン、展示会集客セミナーの企画・開催

本件に関する問合せ先

SUPER PENGUIN株式会社 担当：山岸・田宮 TEL:03-6417-4497 E-Mail: [info@superpenguin.jp](mailto:info@superpenguin.jp)